

## 【第4回】石巻市震災伝承検討委員会議事要旨

- 開催日時 平成26年7月24日(木) 午後1時30分～午後3時30分
- 開催場所 石巻市役所4階 庁議室
- 議事次第
  - 1 開 会
  - 2 あいさつ(平川委員長)
  - 3 議 事
    - (1) 新潟県中越地震震災遺構視察の報告について
    - (2) 震災遺構3候補についての保存の意義・必要性の検討について
  - 4 その他(事務連絡)
    - (1) 今後のスケジュールについて
  - 5 閉 会

### ◆ 議事要旨

#### (1) 新潟県中越地震震災遺構視察の報告について

各視察箇所の概要、印象等について、資料1に基づき事務局から説明。

(主な意見)

- ・施設がコンパクトにまとまっていて回りやすかった。
- ・「防災の備え」「支援者との交流」など施設ごとに異なるテーマで展示をしているのが良かった。
- ・プロジェクションマッピングやタブレット端末など最新の技術を活用した展示は、若い人にも興味を持って貰えるのではないかと感じた。
- ・目で見ただけでなく、実際に体験できる場の必要性を感じた。
- ・「これから震災の記憶を伝承していくなかで、近隣自治体とも手を取り合っていかなければならない」という担当者の言葉が印象的だった。

#### (2) 震災遺構3候補についての保存の意義・必要性の検討について

資料2に基づき事務局から説明後、3候補についての意義・活用方等について議論。

(主な意見)

<住吉公園・中瀬北地区について>

- ・住吉公園の嵩上工事は復興計画の基本となっているので、現状のまま残すのは難しいのではないかと思う。
- ・住吉公園は水辺との繋がりを大事にするということで、デザイン面で様々な可能性があ

と思う。

- ・中瀬北地区は橋が架かる予定だが、遺構性を維持する形で橋を架けて、後世に残すようなデザインにしていくことを検討している。
- ・中瀬北地区は震災前後での地盤沈下の状況が分かるようなデザインにすれば遺構として分かりやすいのではないか。
- ・これら2つの候補については、何を伝えたいのかを明確に背景を整理し、整備事業の中に取り組みることができれば、遺構として位置付けなくても、十分後世に伝わるのではないか。

#### <旧門脇小学校について>

- ・まちづくり協議会との意見交換では、「早期に解体してほしい」などの意見もあったので、その点も踏まえて、旧門脇小学校に遺構としての価値がある施設なのか考えていきたい。
- ・旧門脇小学校は津波被害の痕跡が一番残っている施設である。
- ・旧門脇小学校は津波や火災の恐ろしさだけではなく、車両での避難の危険性、二次避難の重要性など、今後の教訓を伝えることができる大切な施設であると考えている。
- ・地元の方々にとっては、毎日、旧門脇小学校を見て生活するので、その点を配慮する必要がある。
- ・現在の場所に残せないのであれば、メモリアルパークやそれに関連する施設として整備していくことも考えていかなければならない。
- ・震災遺構は「鎮魂の場」とすることもできるのではないか。
- ・これだけ大きな施設を保存するには費用もかかるのではないか。
- ・全部保存だけでなく、一部保存など保存方法についても検討する必要がある。

以上の意見から、旧門脇小学校を震災遺構として保存する意義があることを確認し、今後の委員会では、旧門脇小学校の保存方法や活用・伝承手法について検討していくことを決定した。

#### ◆ その他（事務連絡）

##### (1) 今後のスケジュールについて

次回以降の委員会の開催スケジュールと検討内容について事務局から説明。

以上